

熊本学（祭り）コース

地域に根ざしたふるさとの祭り

～無病息災を願う人々の思い～第3回

八代神社氷室祭（八代市）

～夏場の無病息災を祈願 縁起物「雪餅」～

八代神社 宮司
小林 雄彦 氏



八代神社のご祭神は 妙見神

北極星と北斗七星の星辰信仰から生まれた神として神道・仏教それぞれで篤く信仰されてきた神様です。北極星はずっと同じ位置にあり天の中心にある星で、人々の色々な願いをかなえてくれる特別な力を持つ神様として「妙見信仰」は広がりしました。

八代神社の社名変更

神仏分離令⇒明治元年（1868年）

妙見宮⇒八代宮⇒八代神社

御祭神も改められました

国土形成の根源・国土守護神の二柱

妙見神 ⇒ 天之御中主神（あめのみなかぬしのかみ）
国常立尊（くにのとこたちのみこと）



妙見の「くす」の樹は「楠」ではなく日本古来の「樟」です。



ガメ（亀蛇）さんは妙見の神様を乗せて中国から海を渡ってきました。



妙見中宮

熊本名水百選の水汲み場

八代神社の歴史

白鳳9年（680）飛鳥時代
妙見神が竹原津に上陸

延暦14年（795）平安時代
妙見上宮が創建

永暦元年（1160）平安時代
中宮が創建

文治2年（1186）平安時代
下宮が創建

八代神社の主なお祭り

1月3日

御田植祭
五穀豊穡祈願



（一般の方も参加できます。神事が終わって神様の力が宿っている榊を奪い合い自分の土地に持ち帰り祈願します。）

6月1日

氷室祭（起源は350年以上前にさかのぼる）
無病息災祈願

祭り起源の説は二つあります。

- ①八代城北の丸で隠居していた細川忠興（三斎）が妙見宮に参拝した折無病息災を祈って八代東町の三室山に積もった雪を献上した。
- ②住民たちが氷室に蓄えていた雪（氷）を妙見宮に献上し、細川忠興（三斎）の無病息災を祈念した。

はっきりしないが②が有力か？

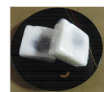
「雪餅」を食すと「厄が去る」という故事に習い、人々が厄入り・厄晴れ・還暦等の人生の節目の年にお参りしてお祓いを受け、無病息災や家内安全のご利益を授かる。

縁起物「雪餅」



「雪餅」は、米粉ともち米を蒸した餡入りの和菓子。
5月31日夕から6月1日まで、境内で2日間の限定販売。

市内の菓子店でも限定販売



11月22日<お下り>

八代妙見祭（室町時代永正12年（1515）一番古い記録）

23日<お上り>

神幸行列⇒神様を乗せた神輿が行列をなして地域をめぐり、人々を病気や災いから守り、地域に平安をもたらすもので、人々は神様への願いと感謝を込めて、飾馬や出し物を奉納すること。菊慈童 西王母

八代博物館の神幸行列ミニチュアの一部

お上り行列は40もの出し物で行列は1.2キロも続く。

平成23年（2011）

国指定重要無形民俗文化財

平成28年（2016）

ユネスコ無形文化遺産登録



くまもと県民カレッジ・パレア
広報ボランティアC/M作成